

WEEKLY REPORT

一宮中央
Rotary



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度 RIテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
地区活動方針「チェンジロータリー 新時代への成長に！」
～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～

THE ROTARY CLUB OF ICHINOMIYA CENTRAL

●創立1990年10月31日 ●承認1990年11月16日 ●事務局 〒491-0858 一宮市栄4丁目6番8号 一宮商工会議所ビル5F
●例会日時 毎週水曜日(PM 6時～7時) TEL 0586-24-1959 FAX 0586-71-4390
●例会場 一宮商工会議所ビル3Fホール E-mail: icrc@alpha.ocn.ne.jp URL: http://www.138crc.com
◇会長 尾関一之 ◇会長エレクト 秋田敬治 ◇副会長 内田泰潤徳 ◇幹事 野田義広 ◇クラブ会報委員長 鶴飼俊光

令和3年10月13日(水)

第1438回(当年度第13回)例会

本日のプログラム

卓話

「南海トラフ巨大地震に備えて」
地区防災対策委員会
委員 嶋山 佳江様(一宮北RC)

第1437回例会(当年度第12回の記録)

□令和3年10月6日(水) 18:00～19:00
□会場 一宮商工会議所ビル3Fホール
□開会の点鐘 尾関会長
□国歌「君が代」ロータリーソング「奉仕の理想」
□ゲスト 張 潤壺様(米山奨学生)

□会長挨拶

尾関 一之



会員の皆様、お久しぶりでございます。約1か月半の休会を頂きました。コロナ禍での緊急事態宣言発令中でしたので、ご容赦いただきたいと思います。

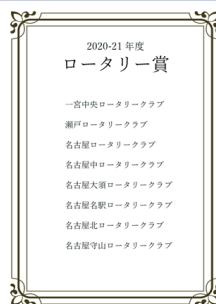
今日のお客様は、米山奨学生の張潤壺さんです。後ほど卓話を頂きますので、楽しみにお聞きください。

さて、私事ではありますが、9月の中旬から白内障の手術を両目とも行いまして、大変よく見えるようになりました。挨拶の原稿も読めなくて大変苦労致しましたが、今日は大変よく見えます。

皆様にお知らせしたいことが沢山あります。まず、前年度クラブ運営に對しましてロータリー賞を受賞いたしました。地区でも8クラブしか受賞しておりません。また、30周年記念事業で一宮市への寄贈に対して表彰状が届いておりますのでご報告いたします。

最後にガバナー公式訪問であります。当初4クラブ合同で9月に開催予定ではありましたが、2月16日に当クラブ単独でのガバナー公式訪問になりました。詳細は近づきましたらお知らせいたします。

それでは、久しぶりの例会を楽しんでいってください。ご清聴ありがとうございました。



ロータリー賞



一宮市からの感謝状



次年度ガバナー補佐 松岡正浩君へ委嘱状授与



銀婚式を迎える浅井清史君へクラブより花束贈呈

出席 報告	会員 総 数	44名	
	出席会員数	34名	77.27%
	他クラブ出席数	0名	
	修正出席率	前々回(9/15)	100%

□地区出席報告



会長エレクト 秋田敬治君

地区危機管理セミナー（ZOOM開催）

2021年9月21日（火） 15:00～17:00

省名ガバナー挨拶に続き、寺本地区危機管理委員長より「危機管理の指針」につき地区内各クラブへの配布資料の内容を説明されました。

その後紙芝居を使い地震発生のドラマを見て、実際に地区内で青少年奉仕事業が実施されている際に大地震が発生したと想定、その時とるべき方策を7グループに分れ、2テーマ別（奉仕事業の事前準備・地震発生、避難、避難所にて）に討議しました。

グループ別発表後、防災アドバイザー（近藤ひろ子氏）からアドバイスを頂きました。

ZOOMでの設営で不安もありましたが、グループ別討議でのファシリテーターの進行が的確で、参加者全員から意見をうまく聞き出せていました。

今後クラブ内で青少年奉仕事業実施に際し、重大災害が発生した場合、臨機応変に「命を守る行動」をとることが最も重要ですが、ハザードマップ確認・安否確認方法・防災非常用グッズ準備等の事前の役割分担と準備がとても大切だと思いました。直近の地区会長エレクト研修での資料から、危機管理に関するページをコピーし配付。

□ニコボックス（ABC順）

☆秋田敬治君 米山奨学生張さん、健康に気を付けて留学の目的を達成されます様祈念します。10月3日地区会長エレクト研修に参加してきました。来年同期の会長エレクト84名と顔合わせができ良かったです。

☆伴 卓樹君 永田さん、IRG優勝おめでとうございます。祝賀会、ごちそうさまでございました。ありがとうございます。

☆猪子裕史君 先日はIRG会永田さん、優勝おめでとうございます。流石です。で、ゴチになりました。

☆松前憲典君 久しぶりの例会であります。今日は米山月間の卓話で、米山小学生 張 潤霊さんのスピーチを楽しみにしております。10月となり、紅葉の季節となりました。よろしくお願い致します。

☆松本正暢君 久しぶりの例会に出席できてうれしいです。

☆宮田浩二君 張さん、今日はよろしくお願いします。
☆森俊一郎君 チョウ ジュンレイさん、卓話を楽しみにしています。

☆永田 正君 先日のIRG会にて久しぶりに優勝する事が出来ました。そして多くの皆様に優勝祝賀会を開いて頂き感謝感謝です。ありがとうございました。

☆西岡則男君 久しぶりに例会に出席でき感謝です。
☆野田義広君 チョウ ジュンレイさん、今日の卓話楽しみにしています。

☆大塚省治君 張さん、コロナ禍の中、奨学期間も残り6カ月となりましたが、一宮中央ロータリーを楽しんで下さい。本日の卓話宜しくお願い致します。

☆尾関一之君 皆さん、お久しぶりでございます。久しぶりの例会を楽しんで下さい。張潤霊さん、ようこそおいで下さいました。

☆佐藤祐造君 第6波が来るかもしれません。コロナ対策続けましょう。

☆鈴木宣宏君 永田さん、先日はIRG会優勝おめでとうございます。祝賀会もありありがとうございました。

☆鵜飼俊光君 永田さん、先日はご馳走様でした。あっ!!IRG優勝おめでとうございます

□第122回IRG会表彰



優勝 永田 正君



明世カントリークラブ 2021. 10. 3

□米山月間卓話



米山奨学生 張 潤靈 (チョウ ジュンレイ) 様
(中国 1995年9月22日生まれ 名古屋大学大学院)

「苦中作楽」

2018年の夏に日本へ来てから今年で留学の3年目になりました。過去を振り返れば、今までの留学生活には難しいところがいっぱいありましたが、楽しい体験もいろいろあります。

大学院に入学する前に、ずっと東京の言語学校で日本語の授業を受けていました。しかし、大学院の入学合格を目指すには、言語学校の授業だけで全然足りないの、教育学に関する知識を獲得するために、放課後の時間を利用して勉強は不可欠です。特に、競争が激しい東京で、志願大学の入学試験に落ちて帰国しなければならない留学生は少なくありません。このような厳しい現実の中で、悪い結果が想像も及ばないほどの重圧を受け、毎日決して後悔しないように一生懸命に頑張りました。

一方、進学の重圧以外、生活からの重圧も多々ありました。その中、一番つらいのはお金の問題です。ほとんどの中国の普通の家庭にとって海外の留学費用は安くはありません。学校の入学金、授業料や家賃なども中国によりかなり高いです。来日から、学習と生活を両立させるために、週に約20時間のバイトをしてお金を稼ぎます。それにしても、日本の物価の高さを想像以上のものです。一日の食費が300円にしかないほどつらい場合もありました。

中国で「苦中作楽」という言葉があります。「苦しい境遇の中でみずから努めて楽しみを求める、苦しみの中で楽しむ」という意味です。留学生活には困難がある時、「今、前向きに進んでいる」「夢を絶対に叶える」を信じています。人生に、明確的な目標をもって進むことは何より一番楽しいと思います。

また、最初のアルバイトの目的は単純にお金を稼ぐことでしたが、今ではその考えが変わりました。アルバイトを通して、日本の社交礼儀を学んで、文化を体験しました。そこから一応、日本社会の様子を窥えました。例えば、明治記念館のウェーターとして、日本の結婚式や政治要員の散歩会など様々な宴席を体験したことがあるし、雰囲気がいかがわしい飲食店で日本社会の男女差別を体験したこともある。また某化粧品会社の通訳員を担当する時、複雑な人間関係で泣いている女子社員の様子を見たことがあるし、塾の講師

として、英語を嫌って勉強したくない男の子に相談されたこともある。アルバイトから頂けるのは給料だけではなく、人生の貴重な経験です。

現在、留学生活はだんだんエピローグにと近づいています。卒業論文以外、なるべくさまざまな活動を体験し、苦でも楽でも回憶を創造したい。私にとってそれは一生忘れない人生の宝だと思います。



ロータリー米山記念奨学事業とは？

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが協同で運営する民間奨学団体です。米山奨学会では日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。

事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

なぜ、外国人留学生を支援するのか？

この事業は1952年、東京ロータリークラブが発表した「米山基金」に始まります。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたい。東京RCが設立のは、海外からの優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。

ロータリー米山記念奨学金の特長

交流を大切にしています。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリークラブについて学びます。また、奨学期間終了後も「ロータリー学友」として、国際ロータリーの国際的コミュニティに参加することができます。



過去一宮中央RCでお世話した奨学生

1992年度	郭 瓊瑤	台 湾	名古屋大学
1996年度	李 麗燕	台 湾	名古屋大学
1999年度	秦 麗花	中 国	名古屋大学
2002年度	李 黎明	中 国	中京大学
2006年度	ルクマン	インドネシア	名古屋工業大学
2008年度	ウィヒソライソ	ミャンマー	名城大学



米山奨学会への寄付は2種類です。

- ・普通寄付 安定財源として、各クラブが決定した金額を会員数分、毎年全クラブから寄付しています。一宮中央RCでは、上期2,500円、下期2,500円計5,000円×会員数が予算化されています。
 - ・特別寄付 個人・法人・クラブからの任意寄付
- | | | |
|------|--------|-------------------|
| 個人表彰 | 累計額 | 表彰名 |
| | 3万円 | 準米山功労者 |
| | 10万円 | 第1回米山功労者 |
| | 20万円～ | 第2回～米山功労者マルチプル |
| | 100万円～ | 第10回～米山功労者メジャードナー |

2023-24年度国際ロータリー会長に ゴードン R. マッキナリー氏が選出される



2023-24年度国際ロータリー会長の指名委員会により、スコットランド、サウスクイーンズフェリー・ロータリークラブ会員のゴードン R. マッキナリー氏が選ばれました。対抗候補者が出ない場合、10月1日に会長ノミニーとして宣言されます。

マッキナリー氏は、新型コロナウイルス流行の中でテクノロジーを取り入れたロータリーの適応力を高く評価。ロータリーが今後も成長し、人びとの参加を促していくには、ロータリーの過去の慣習の最も良い部分と組み合わせてこのアプローチを継続していくべきだと述べています。

「私たちは、地域社会で互いを思いやる意思があることを学びました。ボランティアという概念を最近受け入れた人たちが今後も奉仕していけるように、これらの人にロータリー入会を奨励する必要があります」とマッキナリー氏。

また、オンラインでのシニアリーダーとクラブの直接的なコミュニケーションは、好ましい変化として今後もロータリーに残していく必要があると述べました。その一方で、「より多くの交流を促進するには対面での会合も依然として重要」と加えています。会員増強の最善の方法は「エンゲージメント（参加／関わり）」であると考え、マッキナリー氏は、クラブをより良くサポートするには、国際ロータリー、地域リーダー、地区チームのすべてがクラブと関わりあう必要があると述べています。また、ソーシャルメディアを通じたエンゲージメントによって、ロータリーのブランドがより強くなり、ロータリーがもたらす機会を多くの人に知ってもらうことができる、また、政府・企業・その他の団体のエンゲージメントがあることで有意義なパートナーシップが築かれる、とも述べています。

より積極的なエンゲージメントがあれば、「会員基盤だけでなく、より有意義な奉仕をする能力においてもロータリーが成長できる」とし、「会員は組織の活力源です。新しいスタイルのクラブを設立するために、現在可能となっている柔軟性を活用することを奨励していきたいと思います」と語ります。

ダンディー大学を卒業（口腔外科）し、エディンバラで歯科医院を開業。英国小児歯科学協会の元会長のほか、学術分野で数々の役職を歴任。長老派教会の元長老、クイーンズフェリー教区元理事長、教会総会元役員。

1984年にロータリークラブに入会。グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー（RIBI）の会長と副会長、国際ロータリーの理事と各種委員会の委員長を歴任。現在は2022年ヒューストン国際大会委員会のアドバイザーおよび運営審査委員会委員会の副委員長。

妻のヘザーさんとともにメジャードナーおよびベネファクターとしてロータリー財団を支援し、遺贈友の会の会員でもあります。

第4回理事会報告

報告事項

- ①ニコボックス残高 415,000円
- ②ロータリーレート 1ドル 112円（前月末110円）
- ③ガバナー公式訪問（クラブ単独訪問）
2022年2月16日（水）18：00～19：00
一宮商工会議所ビル3Fホール
- ④秋季米山奨学生・カウンセラー合同研修会
2021年11月13日（土）10：30～16：00 豊川稲荷
永田カウンセラー（登）7,000円
- ⑤地区ローターアクト「RUN IN BLUE JAPAN」
チャリティマラソン
2021年11月23日（火）13：00～16：00
高岡運動公園
伴地区RA委員（登）5,000円
張 潤壺さん（米山奨学生）（登）3,500円
- ⑥クラブ活性化セミナー
2021年11月29日（金）13：00～16：30
名古屋東急ホテル
尾関会長・秋田エレクト（登）8,000円×2名
- ⑦2021-22年度ロータリー財団地区補助金入金
807,290円（7339ドル）

審議事項

- ①理事の補填に関する件
 - ②2022～2023年度理事役員の指名委員会設置に関する件
 - ③第1443回例会（11/24持ち出し例会）の予算に関する件
 - ④第1445回例会（12/8クリスマス家族会）の予算に関する件
 - ⑤2022～2023年度西尾張区分IM実行委員長及び区分ゴルフ大会実行委員長の選任に関する件
 - ⑥創立記念例会とクリスマス家族会に米山奨学生を招待する件
 - ⑦「赤い羽根共同募金」の協賛に関する件
- ※議事録を閲覧希望の方は事務局迄お申し付け下さい

次回 2021年10月20日（水）の例会予定

会員卓話

「地区補助金事業・経過報告」
国際奉仕委員長 山田 満君